



平成23年度 JST 戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）採択
社会技術研究開発事業「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」
高齢者の営農を支える「らくらく農法」の開発

 **らくらく農法**



奈良女子大学・奈良県農業研究開発センター・株式会社三晃精機・奈良高専・下市町
研究代表者 寺岡伸悟

らくらく農法PJの考え方

高齢コミュニティの課題解決には**4つ**の不可欠な次元がある



4次元に対応したPJの構成

コミュニティ
(ムラ)

集落点検法グループ(奈良女子大学 社会学)
コミュニティの実態を把握する「集落点検法」の開発

現地実証グループ(下市町役場)
成果の応用・発展のための「現地実証」とその検討

からだ(健康)

PPKグループ(奈良女子大学 スポーツ科学)
高齢営農者の動きや体力を解析,それに見合った体力
増進・身体ほぐしを実現する「らくらく体操」の開発

道具(機械)

らくらく電動運搬車グループ
(三晃精機株・奈良高専)
高齢営農者が簡単・安全に扱える「電動運搬車」の開発

生業(農業)

らくらく栽培グループ
(奈良県農業研究開発センター)
重い果実から軽い柿葉へ転換する「らくらく栽培」の開発

集落点検グループ

< まず地域の現状を知ろう! >

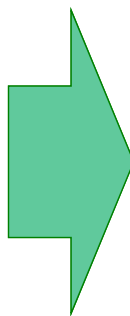
コミュニティ

道具

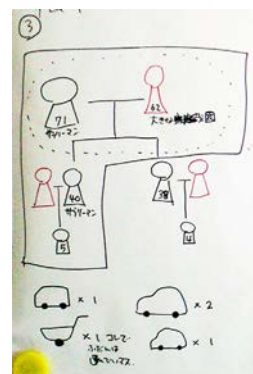
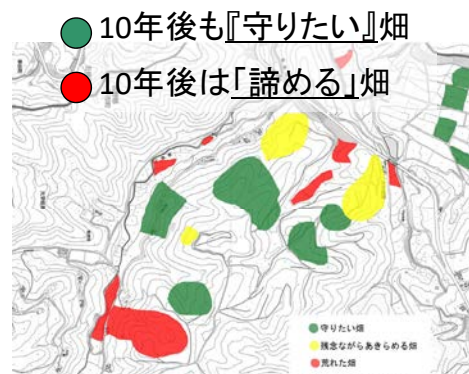
からだ

生業

集落の皆さん自らが自分のコミュニティ空間をチェック



体力?
畑?
後継者?



10年後マップ

家族構成
多出者の状況

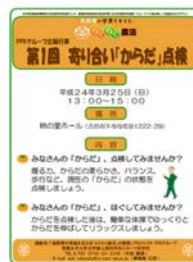
コミュニ ティ	道具
からだ	生業

PPK(ぴんぴんころり)グループ

○実際の農作業の観察から、身体の動かし方、疲れ方を調べる。



○栃原の高齢農家の体力を測り(寄り合いからだ点検)、日常的にできる体操メニュー(らくらく体操)を提案する。



コミュニティ	道具
からだ	生業

らくらく栽培グループ

「重くて大変」な果実栽培から「軽くて楽」な柿葉生産へ!

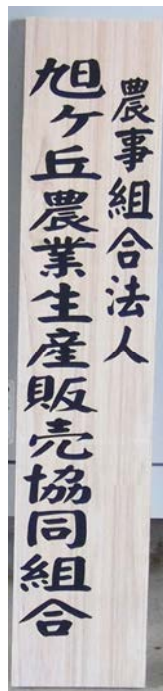


果樹園芸の常識(名人芸に支えられた果実のためだけの栽培法)を打破した新しい品目と生産方法を開発。

地域の生業の新しい拠点組織

農事組合法人

旭ヶ丘農業生産販売協同組合 **旗上げ!**



らくらく農法で生涯現役

江戸時代から栃原地域は柿の主産地として栄え「**栃原柿**」という品種があるくらいです。特に、私たちはその中でも渋柿の葉を中心に柿の葉寿司の原材料に使う柿の葉だけの生産をしております。栽培については**農薬規制法**を厳守し、4月に1回のみの散布に止めその後散布は一切せず形、色、つやを整えて**安心して**お寿司に使用できる柿の葉の生産に努めております。

栃原産柿の葉

私達が丹精込めて生産しております。

← 組合長 清水雄成

- ・現在 柿葉生産者9名が参加
- ・地元柿の葉すし業者と提携

平成24年 16万枚

25年 24万枚

26年 32万枚 販売

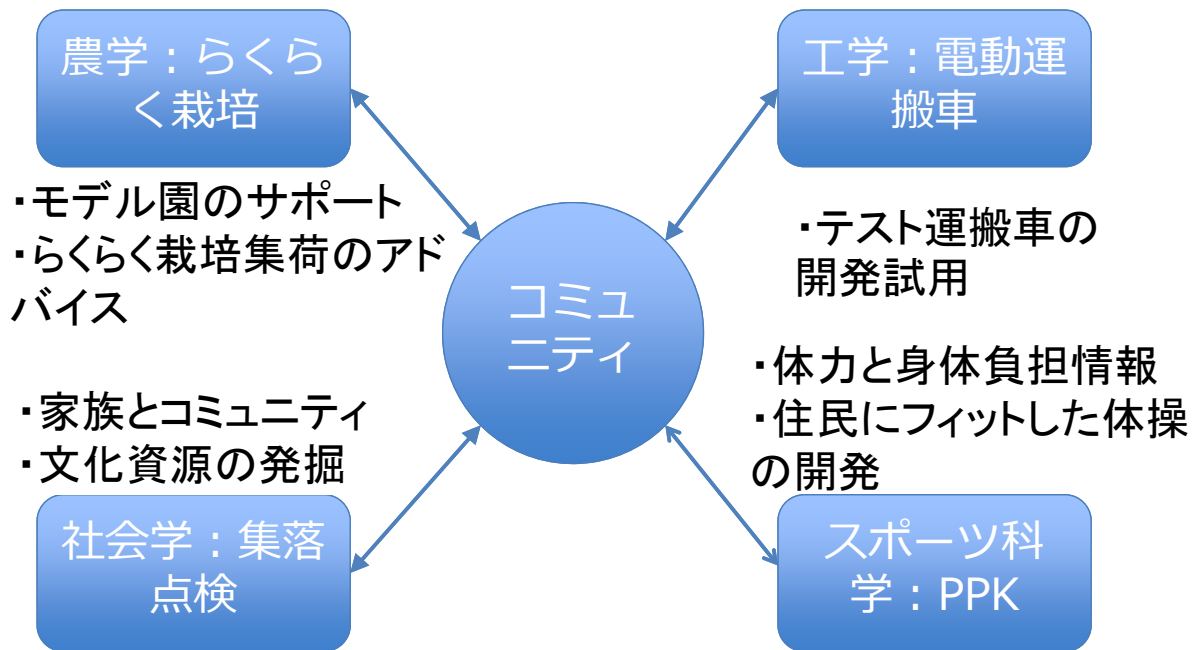
電動運搬車グループ ; 高齢者サポート機器開発



ガソリンエンジンで動く複雑で難しい農作業用機械の常識を一新した、電動農機を開発

安全第一。
高齢者が扱いやすい操作性の確保。

地域参加型研究：コミュニティとの協働



成果のまとめ

事業成果のまとめ

コミュニティ
(ムラ)

集落点検法グループ

- 集落の状況の可視化ツール『集落点検法』

現地実証グループ

- 成果の応用・定着を模索する『地域づくり推進課』

からだ(健康)

PPKグループ

- 仕事で疲労する身体に合わせた『らくらく体操』

道具(機械)

らくらく電動運搬車グループ

- 高齢者でも簡単・安全に扱える『電動運搬車』

生業(農業)

らくらく栽培グループ

- 重い果実に代わる軽くて楽な『柿葉栽培』と生産販売拠点である『農事組合法人設立』

地域で様々な活動が立ち上がる

元気印事業・過疎対策事業



花・葉っぱで『元気』プロジェクト

レンタル電動運搬車

薬草振興



シヤクヤク栽培

タウンミーティング



下市町観光協会



栃原地区を始め、
下市町内で様々な動きが
活発化。

世界への展開



H25.7トルコから
らくらく農法を視察

「農村の高齢化」という同じ悩みを抱える
トルコ共和国と連携の可能性を模索。

H26.10 トルコ視察。
国際高齢シンポジウムで成果発表。
現地で電動一輪車が注目を浴びる。



下市町にそっくりなトルコの
果樹園



国際シンポジウム



介護施設



ザクロ畑